

生涯学習・社会教育関係職員研修講座

「中堅職員研修(第3回)」

日時:平成27年9月8日(火)

会場:青森県総合社会教育センター 第1研修室

1. 講義

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(中堅職員研修 第3回)が9月8日(火)、当センターで実施されました。15名の社会教育関係職員が参加し研修が行われました。午前中の講義では青森大学社会学部 柏谷至教授より、「地域や人づくりに関わる社会教育の重要性」について青森市幸畑地区の実践事例を取り上げ、丁寧に説明していただきました。受講者は真剣な表情で話を聞いていました。

【講義の様子①】



【講義の様子②】



【講義の様子③】



【講義の様子④】



【講義の概要】

- ・地域の課題解決は社会教育が関わっていかなければならない。
- ・近年、**消滅可能性自治体**が話題となっている。青森県も若年女性が25年間で4割減少。これからの若い世代をどう育てていくかが課題である。
- ・子どもの能力の大部分を占めるのは**非認知的能力**(好奇心を持つ・物事を最後までやり遂げる・自信を持つことができるなど)である。
- ・非認知的能力をどのように育てていくかが学校現場での課題である。
- ・地域コミュニティの衰退により人々のつながりが希薄化している。**(無縁社会)**
- ・青森市幸畑団地地域ではコミュニティ再生のため「**まちづくり協議会**」を設立し、調査研究・教育・社会貢献などに取り組む「**幸畑プロジェクト**」を立ち上げた。しかし地域住民に自信や期待感などの成果がある一方、自主財源や人材確保などが課題となっている。
- ・まちづくりは「**無いものねだり**」より「**あるもの探し**」の方が大事である。

2. 演習

午後は引き続き、青森大学社会学部 柏谷 至 教授による演習が行われました。あらかじめ**4つのテーマ**を提示し、各人が希望するグループに分かれて話し合いが持たれました。地域で抱える**課題**や**解決策**を出し合い、活発な意見交換が行われました。演習の中では他のグループの様子を見に行く時間を設定し、自分たちのグループと比較・検討できるような仕掛けが見られました。各グループの発表後、講師の柏谷教授に総括していただきました。

【講義の様子①】



【講義の様子②】



【グループ発表の様子①】



【グループ発表の様子②】



【グループ発表の様子③】



【グループ発表の様子④】



【演習のテーマ】

- ① 地域活動の「**内容**」に関する悩み（地域のニーズや有効的な活動の悩み）
- ② 地域活動の「**担い手**」に関する悩み（人手が足りない、ノウハウがわからないなど）
- ③ 地域活動の「**受け手**」に関する悩み（参加者が少ない、固定化しているなど）
- ④ 地域活動の「**実施体制**」に関する悩み（場所・施設・機材・予算がないなど）

※ 参加者が悩みを共有することで原因や背景・解決策を導きだしていきました。

〈講師プロフィール〉



柏谷 至 氏（青森大学社会学部教授・地域貢献センター長）

1966年秋田県生まれ。筑波大学大学院社会科学研究所（社会学専攻）単位取得。1999年青森大学社会学部に赴任。現在、社会学部教授・地域貢献センター長。専門は環境社会学。地球温暖化対策、公共交通、コミュニティ再生など、さまざまな分野における住民参加による地域課題解決に取り組んでいる。